

鍼刺激

市川治療室 No.312.2014.07

一般に鍼刺激についての認識はあまりあるとは言えないと思いますが、我が国では、ドクターの承諾（同意書）の元に以下の疾患について健康保険の適用が認められています。

- 1・神経痛
- 2・リウマチ
- 3・頸肩腕症候群
- 4・頸椎捻挫後遺症
- 5・五十肩
- 6・腰痛
- 7・慢性痛

また、最近、NIH（アメリカ・国立衛生研究所）の見解として鍼刺激（鍼灸療法）の各種の病気に対する効果とその科学的根拠、西洋医学の代替治療としてその効果について有効であると発表がありました。

代替医療・混合医療は注目されますね。

WHO(世界保健機構)では鍼灸療法の有効性な疾患として以下のものを挙げています（各項目から五つを抜粋）

- 1・神経系疾患
神経痛・神経麻痺・痙攣・脳卒中後遺症・自律神経失調症
- 2・運動器系疾患
関節炎・リウマチ・頸肩腕症候群・頸椎捻挫後遺症・五十肩
- 3・循環器系疾患
心臓神経症・動脈硬化症・高血圧低血圧症・動機・息切れ
- 4・呼吸器系疾患
気管支炎・喘息
- 5・消化器系疾患
胃炎・消化不良・胃下垂・胆嚢炎・肝機能障害
- 6・生殖・泌尿器系疾患
膀胱炎・尿道炎・性機能障害・尿閉・前立腺肥大
- 7・婦人科系疾患
更年期障害・乳腺炎・生理痛・冷え性・不妊
- 8・耳鼻咽喉科系疾患
耳鳴・難聴・メニエル氏病・咽喉頭炎・へんとう炎
- 9・眼科系疾患
眼精疲労・結膜炎・疲れ目・かすみ目・ものもらい
- 10・小児科疾患
夜鳴き・かんむし・小児喘息・夜尿症・食欲不振

鍼灸の効果は、その刺激が自律神経系・内分泌系・免疫系等に作用して中枢性及び反射性の筋緊張の緩和と血液及びリンパ液循環の改善などの作用によるのではないかと考えられています。

鍼の刺激により血行が改善されることは、体性－自律神経反射や一酸化窒素（NO）の発生な

どの研究（東京都健康長寿医療センター研究所）などで確認されてきました。

また、今年2月から6月までのお知らせでは、血液循環の改善と筋肉の緊張緩和が、痛みの改善に関与することをお伝えしてきました。

市川治療室は、血液循環改善と筋緊張緩和による「神経痛・腰痛症・リウマチ」を主にターゲットにして鍼刺激の医療サービスを提供しています。